

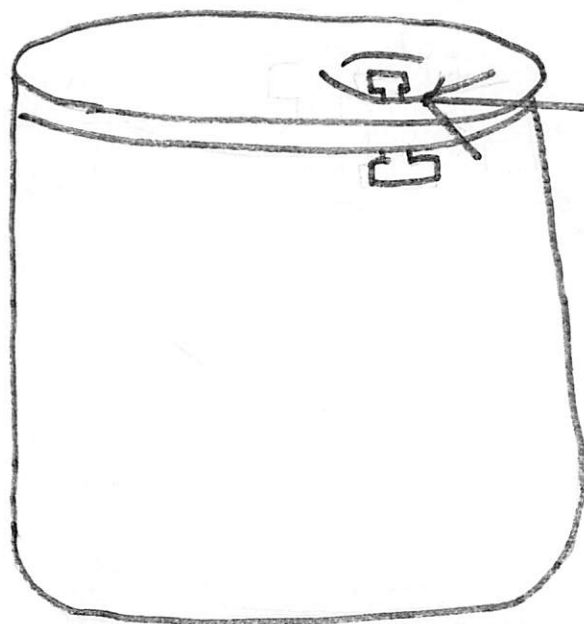
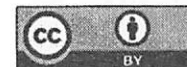
「ビンのふた」の再発明

H29 年度 竹園東 中学校 9 年 2 組 6 班

これまでの問題点（現在ある製品の課題など）

- ・ビンのふたがあきにくい。
- ・あけるときに手が痛くなる。

再発明した製品の説明（要約）※図と文章で簡潔に説明すること！



大まかな形はもとのビンのふたと
変わらないが穴をあけて、その
部分に空気を入れて、外とビン
の中の気圧をがえてあけやすく
する。

参考にしたもの、（この再発明を考えるきっかけになった製品やアイデアをできるだけ具体的に書く！）

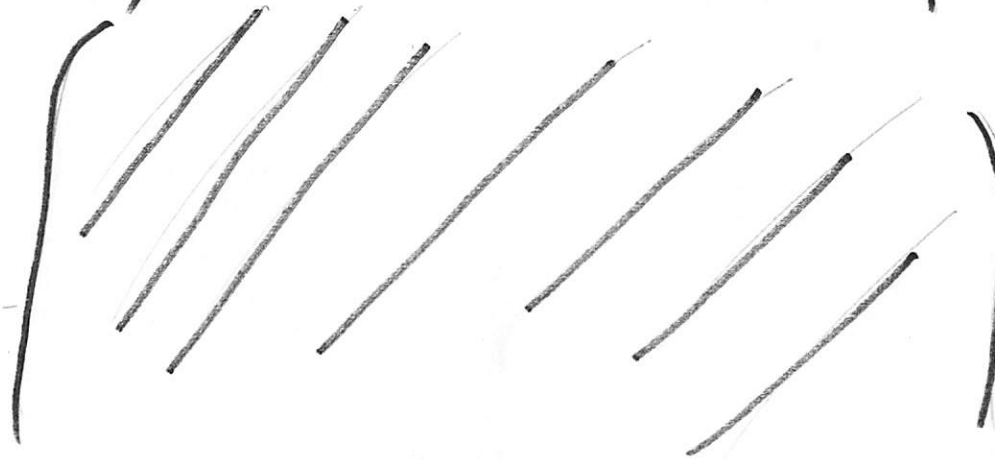
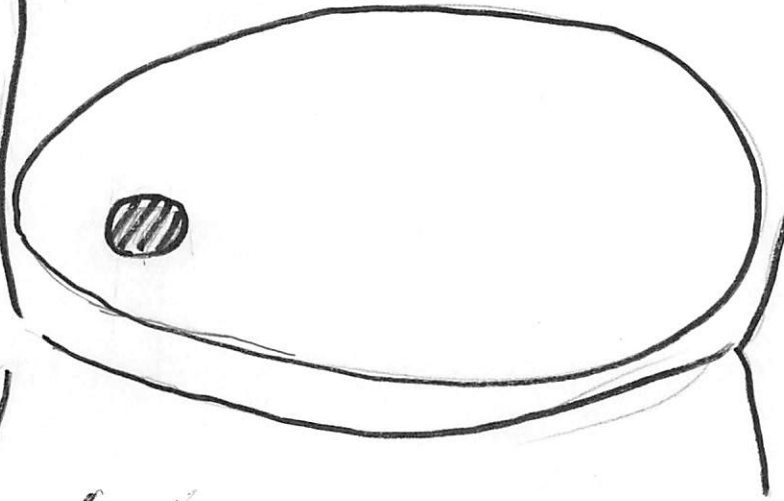
プッチンプリン

「びんのふた」の再発明

29 年度 竹園東 中学校 9 年 2 組 6 班



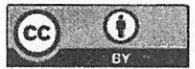
穴を開けて
びんの中の気圧と
外の気圧の
差をなくして
ふたが簡単に
開くようにします!



※ここに書かれたアイディアは、個人名を削除した上で、Web など様々なメディアに公開されます。

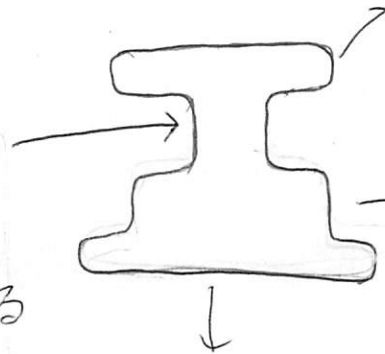
「ビンの口」の再発明

29年度 竹園東 中学校 9年 2組 6班



押したとき、ビンの中に入らない
ように、ビンに開けた穴より大きくする

押すと空気が入
るようにビンに開
けた穴より小さくする



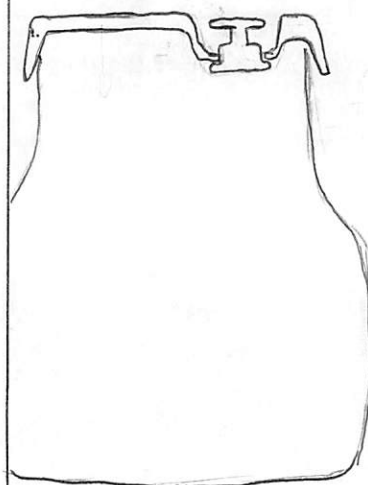
→ 普段は空気が入らないように
ビンに開けた穴とほぼ同じ
大きさにする

戻したときにぬけて
しまわないように。
ビンは開けた穴より
大きくする。

「ビンのふた」の再発明

29年度竹園東

中学校 9年 2組 6班



押すと
⇒



この部分にすまみができることで、
ビンの中に空気が入るよう
になっている。



普段は間違えて押すことがないように
ボタンの高さをふたの高さよりも低くする

メリット

- ・ 力がいらな
- ・ 時間がかからない

デメリット

- ・ 資源を使う
- ・ 作るのが大変